

# R D J 工法接合部標準図

Ring Diaphragm Joint

Ver. 1.02  
https://system.arkhitek.co.jp/

ARKHITEK  
アルキテック株式会社  
TEL:03-6300-9860 FAX:03-6300-9865  
info@arkhitek.co.jp

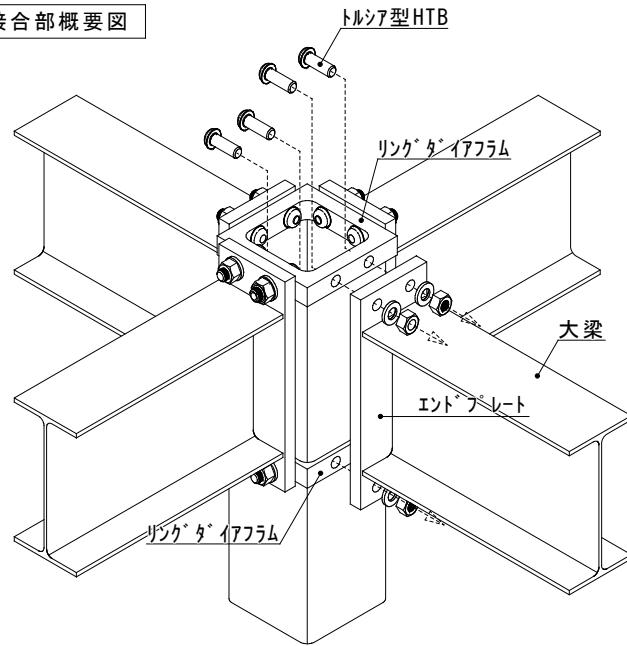
## (1) 使用材料

- (a) 柱母材：STKR400, BCR295 梁母材：SS400, SN490B  
(b) 接合ボルト：F10T (トルシア型HTB)

## (2) 部品記号

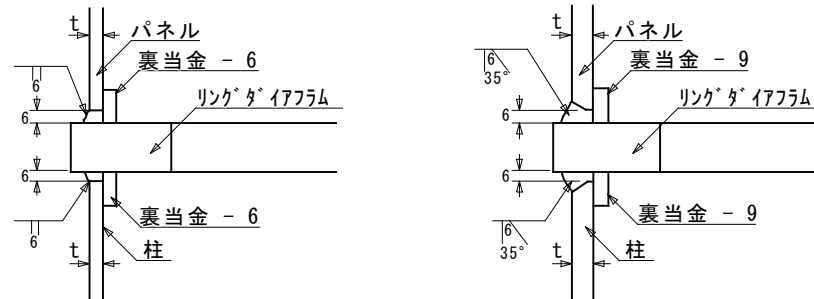
ダイアフラム：DF エンドプレート：EP

## (3) 接合部概要図



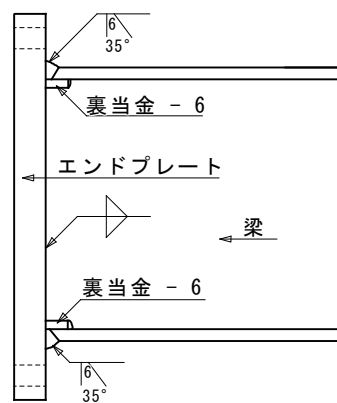
## (4) 溶接基準図

### (a) ダイアフラムとパネル及び柱の溶接



柱板厚  $t = 6 \text{ mm}$  未満の場合は超音波探傷試験を行わない。

### (b) エンドプレートと梁の溶接



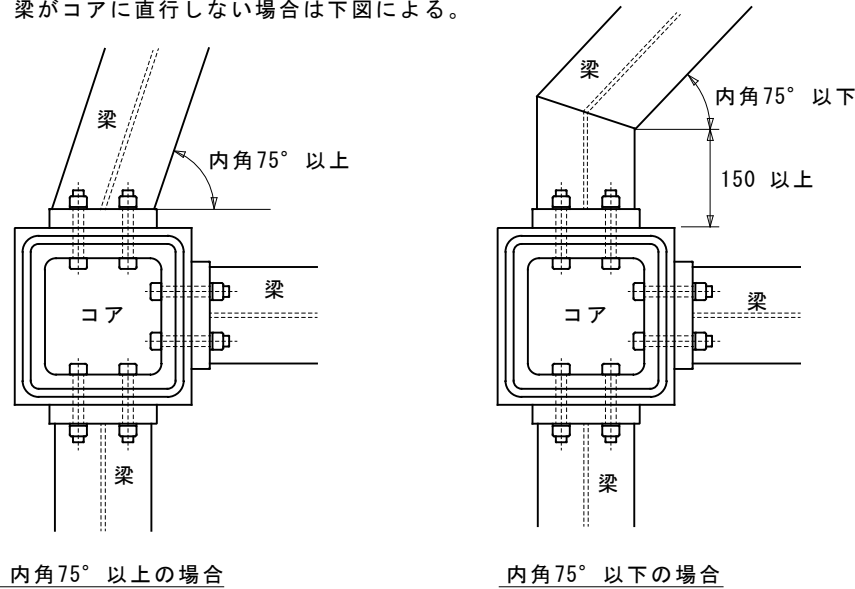
## 梁溶接の注記事項

- ・エンドプレートの取り付けは、位置寸法に特記なき限り梁上端を基準にして梁に溶接する。
- ・超音波探傷試験は梁フランジ突き合わせ溶接の全箇所について行う。
- ・梁幅、丈共  $\pm 2 \text{ mm}$  以上の製品誤差のある材は使用しない。又梁の製品長さの寸法誤差は  $\pm 2 \text{ mm}$  以内とする。
- ・両端のエンドプレートを平行に取り付けられない程捻れている材は、矯正を行ってから加工する。

## (5) 基本形状

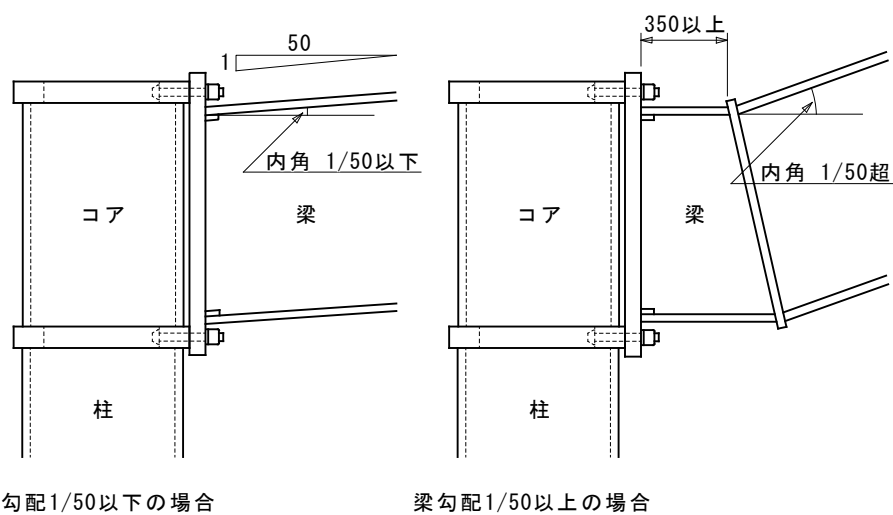
- (a) 柱芯＝梁芯とし、梁の芯ずれは行わない。  
(b) 平面形状

梁がコアに直行しない場合は下図による。

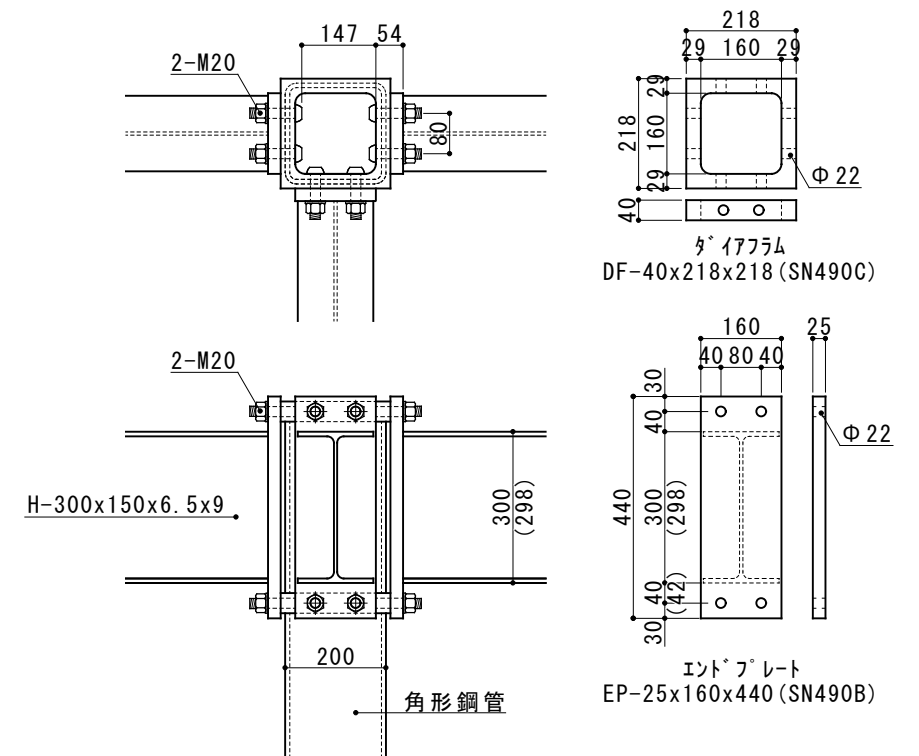


### (c) 立面形状

梁に勾配がある場合は下図による。



## 柱200角タイプ 基本詳細図1/15



## 柱250角タイプ 基本詳細図1/15

